



株式会社 F Cホールディングス

6542 東証スタンダード

個人投資家向け I R セミナー

2025年6月期
第2四半期決算説明

2025年2月13日（木）

13:35～14:25

日経茅場町カンファレンスルーム

代表取締役社長 福島 宏治

基本は技術

目次

前段 当社グループの事業・沿革・編成

1. 第2四半期決算報告

PL／受注高・売上高／BS

2. 2025年6月期通期の計画と進捗状況

通期（FY2025）の計画値／CF見込み

戦略的投資

成長戦略

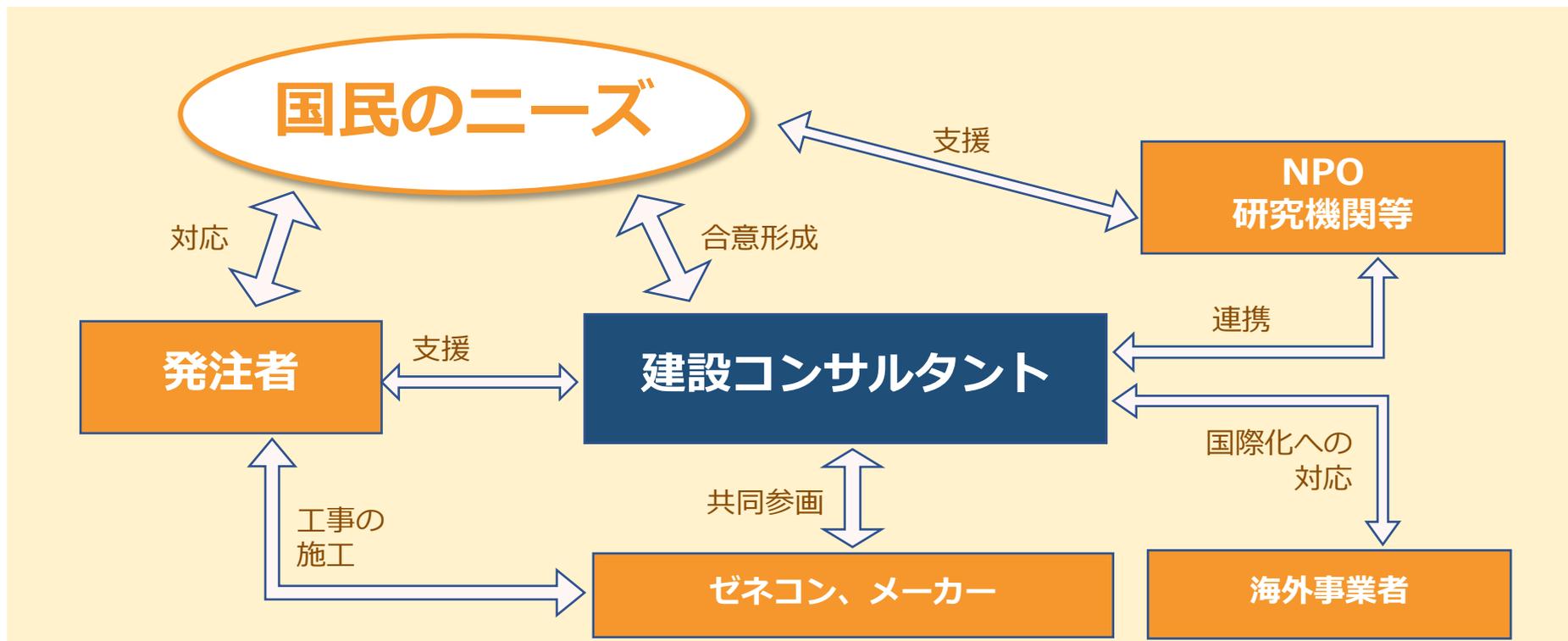
PBR向上施策／株主還元施策

主要事業実績紹介

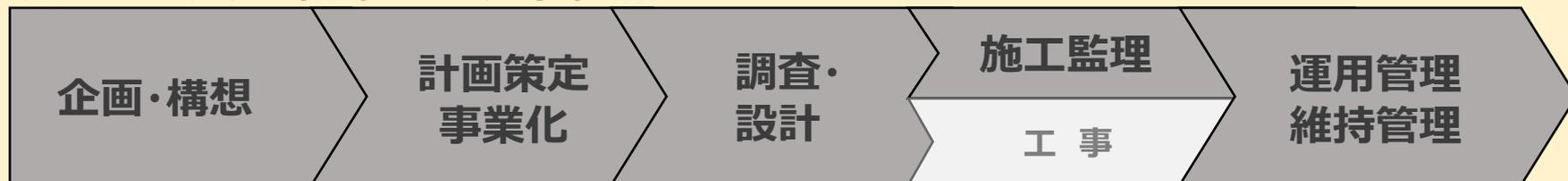
【参考資料】グループ会社概要

主たる事業の概観

建設コンサルタント事業の全体像

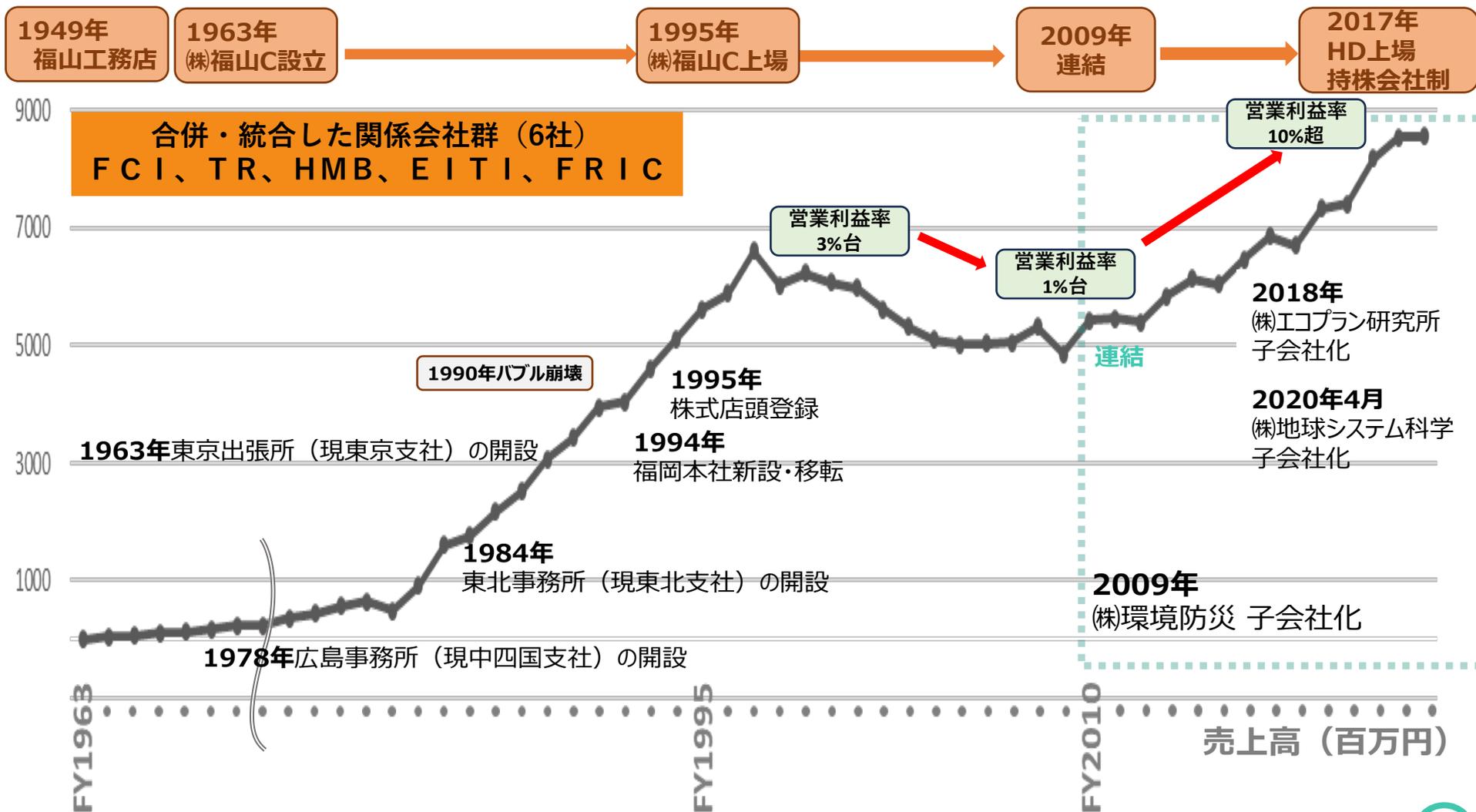


建設コンサルタントが関わる公共事業の流れ



当社グループの沿革

昨年創業75年、今年で株式上場30年を迎える



当社グループの編制

- 持株会社 株式会社FCホールディングス 資本金：4億円
上場市場：東証スタンダード（証券コード6542）
- 主要事業：建設コンサルタント事業（サービス業分類）（1949年3月創業）
- グループ会社数：10社（連結決算対象法人7社）
- 国内主要7拠点、海外2拠点 事業場総数31
- 従業員数：グループ正社員419名（他契約社員118名）



1. 第2四半期決算報告

- ・PL 損益計算書
- ・受注高・売上高
- ・BS 貸借対照表



PL 損益計算書

受注高は前年同期に達していないが、売上高・利益は順調に推移

	FY2024 第2四半期 (百万円)	FY2025 第2四半期 (百万円)	増減	
			(百万円)	(%)
受注高 (繰越含む)	8,725	8,334	△391	△4.5
売上高	3,756	3,989	232	6.2
営業利益	227	424	196	86.7
経常利益	228	426	197	86.7
特別利益	92	-	△92	-
親会社株主に帰属する 中間純利益	185	286	100	54.2

※本表では表示桁未満の端数調整があります

受注高・売上高

国内業務は堅調に推移、海外業務は今後の受注拡大に向け注力

◆建設コンサルタント事業の国内外別 売上高等 (百万円)

		FY2024 第2四半期	FY2025 第2四半期	増減
国 内	受注高(繰越含む)	7,376	7,358	△17
	売上高	3,484	3,686	202
海 外	受注高(繰越含む)	1,348	975	△373
	売上高	272	302	30

◆分野別 売上高 (百万円)

	FY2024 第2四半期	FY2025 第2四半期	増減
社会インフラ、防災	1,909	1,933	24
環境、都市・地域創生	633	726	92
モビリティ形成	1,213	1,329	115
合 計	3,756	3,989	232

BS 貸借対照表

健全な財務水準を持続（2Qでの借入金総額は20億円）

科 目	FY2024 第2四半期末	FY2024 期 末	FY2025 第2四半期末	対 前期末比
資産の部	10,990	9,284	11,222	1,938
流動資産	5,770	4,274	6,148	1,874
現金及び預金	1,457	1,723	1,357	△366
その他	4,312	2,551	4,791	2,240
固定資産	5,220	5,009	5,073	64
有形固定資産	4,104	4,152	4,224	72
無形固定資産	247	42	37	△5
その他	867	814	811	△3
負債の部	4,033	1,755	3,570	1,815
流動負債	3,743	1,465	3,355	1,890
短期借入金	2,450	-	1,900	1,900
その他	1,293	1,465	1,455	△9
固定負債	290	289	214	△74
長期借入金	(注) 159	(注) 142	(注) 109	△32
その他	130	147	105	△41
純資産の部	6,956	7,529	7,652	122
資本金	400	400	400	-
その他剰余金	6,556	7,129	7,252	122
総 資 産	10,990	9,284	11,222	1,938

流動比率183.2%

FY2024 第2四半期末	FY2024 期 末	FY2025 第2四半期末
154.2%	291.7%	183.2%

固定比率66.3%

FY2024 第2四半期末	FY2024 期 末	FY2025 第2四半期末
75.0%	66.5%	66.3%

自己資本比率68.2%

FY2024 第2四半期末	FY2024 期 末	FY2025 第2四半期末
63.3%	81.1%	68.2%

(注) 従業員持株会支援信託ESOP導入に伴う信託口に対する債務保証額（連結財規）

2. 2025年6月期通期の計画と進捗状況

- ・通期（FY2025）の計画値
- ・CF キャッシュフローの見込み
- ・戦略的投資
- ・成長戦略
- ・PBR向上施策／株主還元施策
- ・主要事業実績紹介



通期（FY2025）の計画値

現段階で期首計画に変更はありません

◆ 3Q以降の稼働率・生産性維持、海外受注の回復が計画達成の鍵

(単位：百万円)	<u>FY2023</u> 実績	<u>FY2024</u> 実績	<u>FY2025</u> 計画	対前期増減
売上高	8,566	8,526	8,800	274
営業利益	1,194	1,135	1,200	65
経常利益	1,202	1,135	1,200	65
当期純利益	808	670	850	180
配当金	27円 (22+5円)	30円 (25+5円)	30円	±0
営業利益率	13.9%	13.3%	13.6%	0.3%
ROE	12.5%	9.3%	10%以上	—

CF キャッシュフローの見込み

期首計画に沿ったフロー状況を報告

- ◆ 営業CF：計画どおり推移
- ◆ 投資CF：計画どおり推移（新社屋建設投資・OA関連設備投資）
- ◆ 財務CF：前期長期借入金完済による流出減少

(単位：百万円)

	<u>FY2023</u> 期末	<u>FY2024</u> 期末	<u>FY2025</u> 期末 (見込み)	<u>【参考】</u> <u>FY2025</u> 第2四半期
税引前当期純利益	1,210	1,162	1,200	426
営業キャッシュ・フロー	619	717	650	△1,912
投資キャッシュ・フロー	△161	36	△270	△161
財務キャッシュ・フロー	△785	△661	△202	1,707
現金及び現金同等物の増減額	△327	93	178	△366
現金及び現金同等物の期末残高	1,630	1,723	1,900	1,357

戦略的投資①

2025.6月期投資進捗と主な内容

計画に沿って、成長に向けた積極的な投資を推進

	投資対象	効果 遅行度	予算枠	2025.6期 第2四半期 累計期間 投資実績	2025.6期第2四半期 投資の主な内容
営業CF +調達	人的資本	～6年	5億円	2.0億円	・新卒/キャリア採用強化 ・リスキリング・職場環境整備 等
	知的資本	～3年	5億円		1.5億円
	生産資本	～1年		0.4億円	
	CG資本	～1年	0.4億円		・内部統制・IR活動強化 等
自己資本	拡張資本	～6年	20億円	0.2億円	・資本提携 ・M&A戦略
	財務資本		短期 25億円	短期 19億円	・金融機関からの期中最大調達実績

戦略的投資② 人的資本投資

人的資本に重点投資、採用・育成・職場環境の様々な面で効果が発現

投資対象	効果遅行度	予算枠	期中投資額	期中投資の主な内容
人的資本	～6年	5億円	2.0億円	・新卒/キャリア採用強化 ・リスキリング・職場環境整備 等

【 主な取り組み 】

【 主な成果 】

① 採用

- **新卒採用・中途採用強化**
インターンシップ、広報強化、紹介サービス活用等
- **人材確保に係る各種制度の整備**
アルムナイ制度、内発的創業支援

- **新卒採用**
今期**15名超**を予定
- **中途採用**
今期 **9名**（前期: 7名）

② 育成

- **多様な社内研修制度・実践**
リーダーシップ、専門技術、DX等
- **資格取得支援制度の充実**
資格取得時の手当・一時金支給・勉強会開催等

- **海外研修再開**
コロナ禍で休止していた海外研修を再開
- **学位取得支援**
今期 博士課程修了1名予定

③ 環境

- **多様な報酬制度の充実**
給与UP、ESOP導入、DB・DC充実
- **多様で柔軟な就業制度・運用**
育児休暇制度、地域限定制度

- **給与水準**
対前期比 **+3.3%** ⇒来期（計画）+5%
- **職場環境整備**
北九州新社屋開設（FC折尾ビル）
グループ研究開発拠点機能

FC折尾ビル⇒



戦略的投資③ 知的資本投資・生産資本投資

知的資本投資による成長基盤の強化／生産資本投資により生産効率を底上げ

投資対象	効果遅行度	予算枠	期中投資額	期中投資の主な内容
知的資本	～3年	5億円	1.5億円	・開発促進 ・グループ内外共創等
生産資本	～1年			・DX推進 ・基幹システム高度・省力化

【 主な取り組み 】

【 主な成果 】

知的資本

■ 研究開発促進

(株)SVI研究所における研究開発促進を支援

■ グループ内共創

グループ内企業連携による新たな市場開拓

■ グループ外共創

外部企業との連携・技術連携の促進

● AI特許3件を取得

AI関連の特許3件を取得

⇒「対話型行動支援情報推薦システム」の展開を加速

● グループ内連携によるインフラメンテ市場展開

福山C・環境防災・地球システム科学が、(株)ITSを中心に連携し、非破壊検査業務に対応

● 高齢者向け交通サービス実証実験

静岡市主催「知・地域共創コンテスト」で共創チーム選定
シェアリングムーバーの実証実験⇒社会実装を目指す

生産資本

■ DX推進室の強化

ソフト開発、機器の導入等による生産効率化

■ 管理基幹システムの高度・省力化

社内業務・処理の省力化・効率化の推進

● 時間生産性UPが営業利益率向上に寄与

2Q時点売上高営業利益率

【昨期】6.0%⇒【今期】10.6% 4.6ポイント上昇

DX、社内システム効率化⇒営業利益率向上に寄与

● 研究開発拠点集約による効率化・生産性向上

戦略的投資④ CG資本投資・拡張資本投資

CG資本投資による透明性・リスク管理強化／資本提携による事業領域の拡大

投資対象	効果遅行度	予算枠	期中投資額	期中投資の主な内容
CG資本	～1年	(5億円)※	0.4億円	・内部統制強化 ・IR活動強化
拡張資本	～6年	20億円	0.2億円	・資本提携 ・M&A戦略検討

※前頁「知的資本」「生産資本」と「CG資本」予算合計で5億円

【 主な取り組み 】

【 主な成果 】

CG資本投資

■ 内部統制強化

自律的システム整備、
社内外監査の強化
社外窓口、計画説明会、
社長意見交換会 等

■ IR/SR

IR活動の強化

● 投資家コミュニケーション強化

- ・IRフェア出展
日経IR個人投資家フェア2024
(8/24・25会場来場者数 10,556名)
- ・2Q個人投資家対象説明会 (今回)

● PR活動強化

- ・専門紙特集記事
(建設通信新聞R7.2.3～5掲載)

▼日経IR個人投資家フェア (東京BS)



拡張資本

■ 資本提携

積極的な資本提携による事業領域
の拡大

■ M&A戦略検討

自社の技術・分野・エリアマップを整理⇒M&A戦略

● 資本提携の実施

- ・福山Cが(株)ユーカリヤと資本業務提携し、新ソリューション開発、デジタルツインの社会実装をさらに促進

ユーカリヤ田村CEOと福山C栄徳社長⇒



インフラメントータルサービス分野

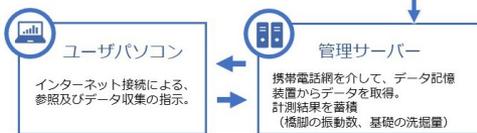
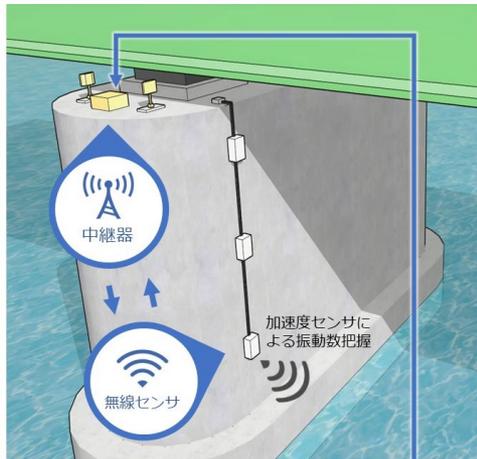
1. 弊社開発技術が NETISに登録

弊社で開発した「下部基礎の洗掘モニタリングシステム」が国土交通省新技術情報提供システムNETISに登録

登録年月日：24.9.13

NETIS登録番号：

KK-240063-A



2. 内閣府SIPへの参画

内閣府SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）に参画

大学や民間企業が保有する技術を融合させ、インフラの変状・予兆の検知に寄与する技術の確立を目指す

※振動試験・剛性評価・非破壊塩分計測を担当



ソリューション分野

1. ツールを用いた防災計画策定支援

災害リスク情報の収集や避難ルート検討を簡易に行うツールの開発により、地区防災計画の策定を支援



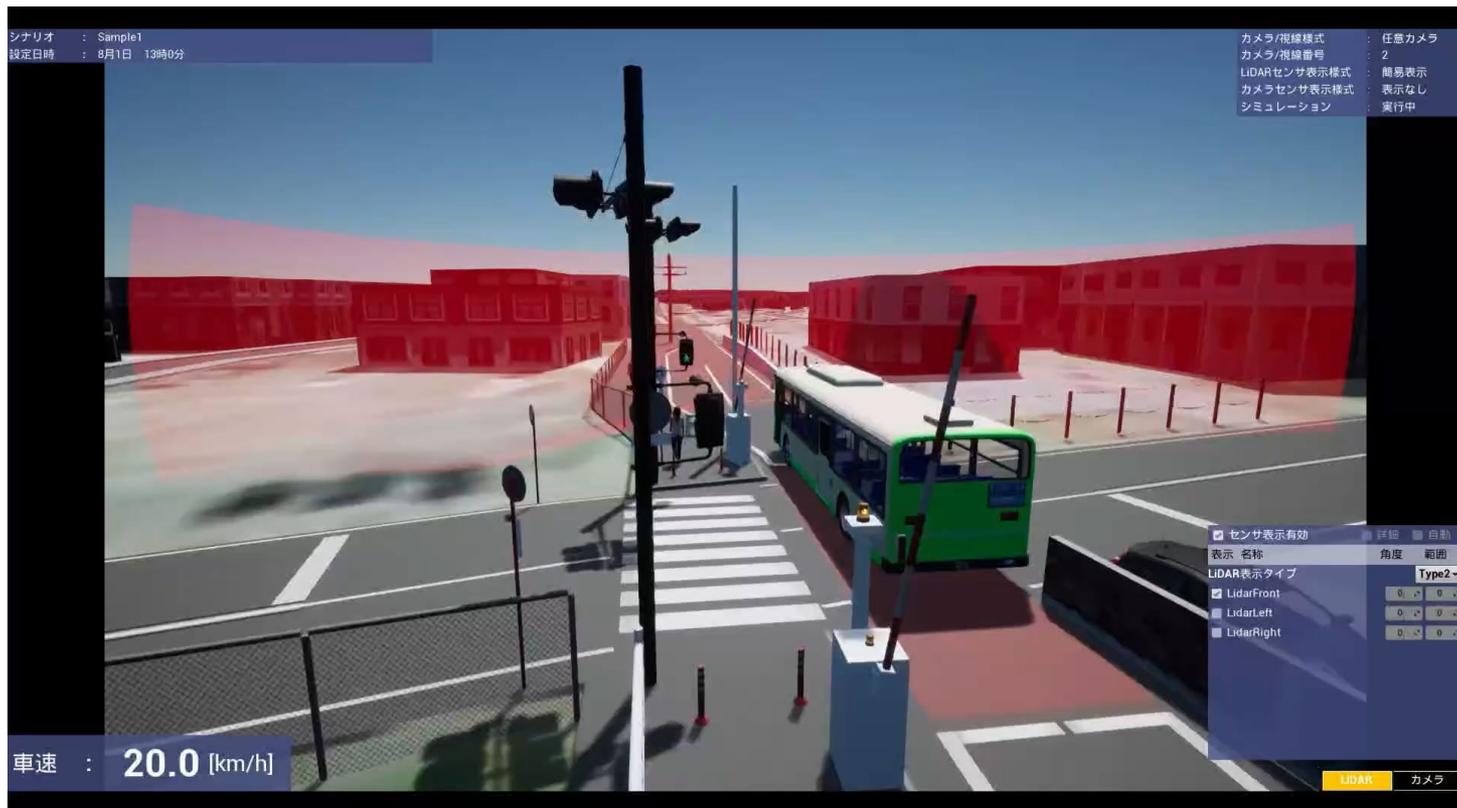
2. 仮想シミュレータを用いた交通関連サービス提供開始

福岡県宗像市を対象として、PLATEAU補助（民間サービス実装タイプ）に応募



ソリューション事例 自動運転車両の導入リスク分析

ゲームエンジンを使用した3Dモデルでの走行環境シミュレーション



センサー可視状態のシミュレーション



気象条件、光源位置のシミュレーション



成長戦略② 環境創生分野

環境共生サイト（OECM）認定支援事業

ネイチャーポジティブ支援セミナーの開催（北九州）

民間企業を対象としたネイチャーポジティブ活動啓発のセミナーを開催

ネイチャーポジティブ関連事業が本格稼働

敷地内の生物多様性調査やOECM取得支援に関するアドバイス等の業務を受注、民間企業のOECM取得を支援

ネイチャーポジティブ支援セミナーの様子⇒



国内肥料資源利用拡大アワード受賞

下水道資源を活用した地ビール醸造・販売からまちづくり

- 下水道資源を活用した市民参画型ホップ栽培、収穫した生ホップと緩速ろ過の水道水で醸造した地ビールを地域ブランドとして展開
- 「自然再興型第6.5次産業」を推進する取組みが評価され、『国内肥料資源の利用拡大に向けた全国推進協議会 奨励賞』を受賞



奨励賞

カシューナッツ事業

ヨーロッパ地域への本格的な出荷契約締結・出荷開始

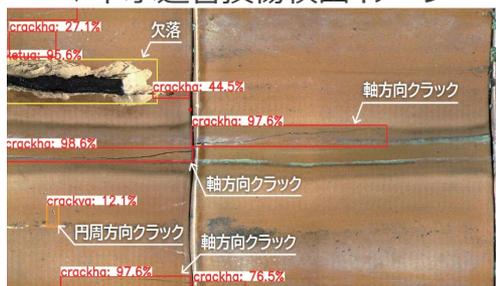
- カシューナッツ加工事業及びカシューナッツ殻を活用したバイオマス燃料化事業をR6.2よりスタート
- R6.11にカンボジアからヨーロッパへ初めてとなる同国産カシューナッツの出荷を開始
⇒さらなる生産量および出荷の拡大を予定

水道インフラソリューション分野

1. 下水道DXを推進

- ・AIによる雨天時浸入水解析予測
- ・AI技術を活用して下水ウォーターPPP管路の損傷状況を見
- ・AI技術を活用した下水損傷検出

▼下水道管損傷検出イメージ



2. ウォーターPPP展開

- ・「ウォーターPPP」は、下水道等、水関連の公共施設を対象にした官民連携（Public Private Partnership: PPP）の仕組み
 - ・地方公共団体と民間事業者が協力し、施設の管理や更新を長期的に効率的に行うことを目指したもの
- ⇒今期、ウォーターPPP導入可能性調査を受注（3件）



事業マネジメント分野

1. インフラ施設等のマネジメント手法

- ・民間企業（道路舗装会社、物流車両データホルダー）のツール開発及び実装支援
- ・公共交通評価ツールを活用した新たな施策導入支援

2. 地域活性化にむけた地域事業のマネジメント

- ・北九州市若松地域の事業者と連携し、地域の特色である“自然”や“食”をテーマとした周遊ツアーを企画・実施

3. 高齢者向け交通サービスの実証実験（静岡市）

- ・静岡市の抱える課題の一つ「高齢者が移動に困らない交通基盤の構築」に、地域事業者のシェアリングスキームによって運行する交通「シェアリングムーバー」の提案
- ・静岡市内のフィールドで実証実験⇒来年度以降の社会実装を目指す

PBR向上施策

PBR \geq 1.0に向けて、ROE10%以上を維持しつつ、PER向上施策の強化

目標指標（成長性・効率性）

売上高成長率	5%/年平均
営業利益率	10%以上
ROE	10%以上
売上高・研究開発費率	5%以上
株主総利回り	中長期的な向上

$$\text{ROE} \times \text{PER} = \text{PBR}$$

自己資本利益率 株価収益率 株価純資産倍率

高いROEの持続とPERの向上

高水準ROE維持施策

- **人的資本投資**
採用・育成の強化、職場環境整備で収益力向上
- **知的資本投資**
特許、共創戦略等で成長基盤の強化
- **生産資本投資**
DX推進、社内システム高度化等で、生産効率の向上
- **拡張資本投資**
資本提携・MA戦略の推進による事業領域拡大、グループ経営強化による収益力・効率性の向上

PER向上施策

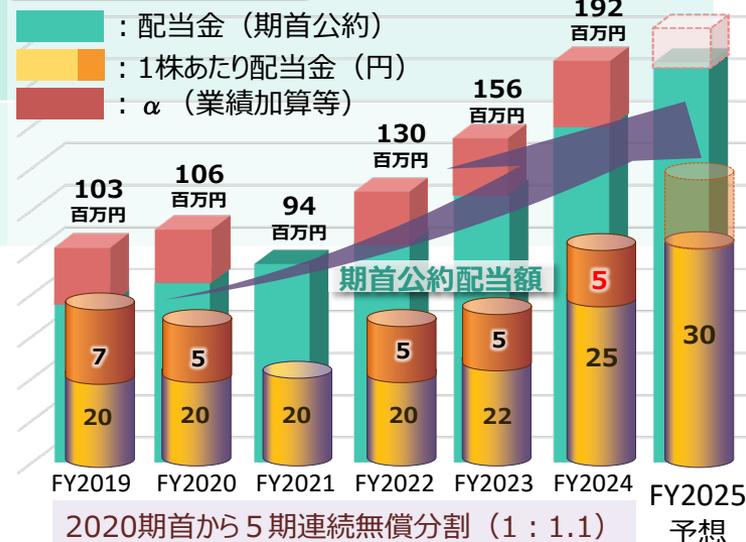
- **IR/PR強化**
投資家コミュニケーション、積極的な広報・情報提供により企業認知度の向上
- **株主還元施策**
株主還元施策を強化することで、株主価値向上、株主とのエンゲージメント施策の強化

株主還元施策

第3四半期決算公表時（5月）までに株主還元施策を検討・判断

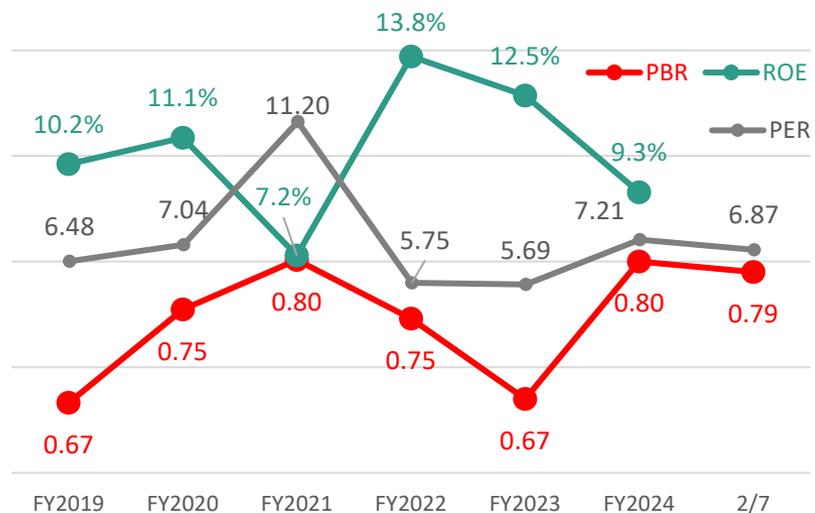
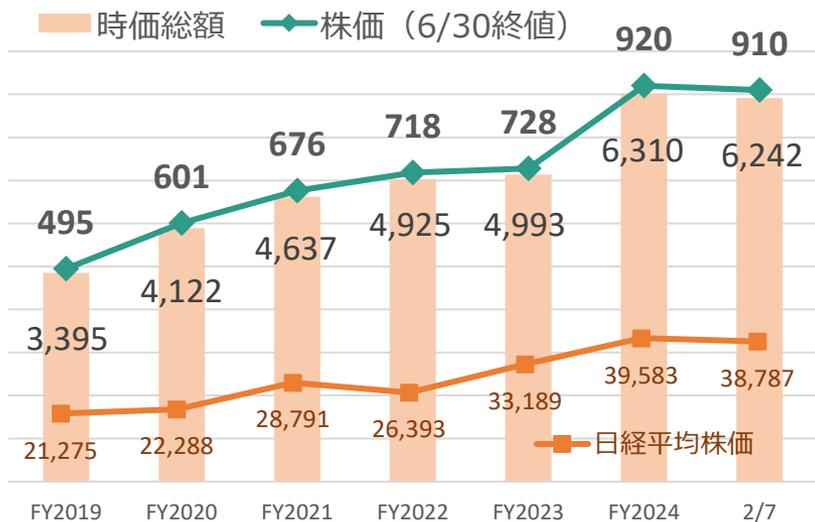
考えられるメニュー	趣旨・方針
①増配	<ul style="list-style-type: none"> ・前期期末配当 30円（期首公約25円+増配5円） ・今期期首公約配当 30円 <p>⇒第3四半期末時点での通期経営成績予測から増配判断 同業他社の配当性向も考慮（他社に劣後しない）</p>
②自社株取得	<ul style="list-style-type: none"> ・自社株買い（消却前提）も前向きに検討中、ただし流動性に課題 <p>⇒増配と併せて第3四半期末で判断</p>
③優待制度 （休止の解除）	<ul style="list-style-type: none"> ・優待制度は現在休止中 <p>⇒今期の実施は考えていない</p>
④株式分割	<ul style="list-style-type: none"> ・前々期まで1:1.1の無償分割実施 <p>⇒今期の実施は考えていない</p>

【参考】配当金の推移



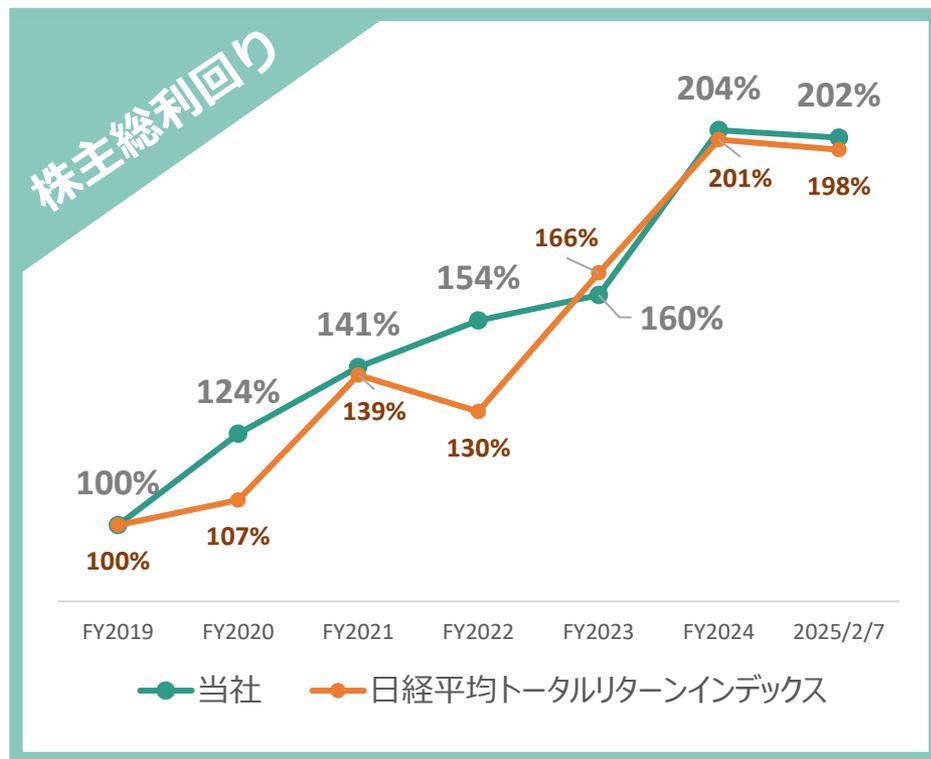
株価等の推移

株主総利回りは日経平均TR以上、PBRはいまだ1.0倍未満の水準



FY2025目標水準

- ① PBR 1倍以上 ② PER 10倍以上
- ※成長投資の拡大、IR・PRの強化、配当還元と株式価値向上施策の検討

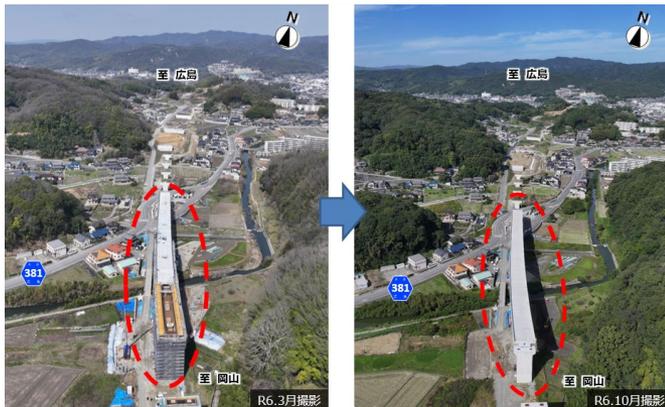


主要事業実績紹介①

社会インフラ防災事業

国道2号 福山道路（岡山県～広島県）

福山道路良事業の効率的かつ確実な事業推進を支援



橋梁の老朽化対策（佐賀県多久市）

橋梁の老朽化に対し、修繕するよりもランニングコスト面で有利となる更新（新設橋）を採用



豊島大橋 橋梁点検（広島県呉市）

島々と本州を結ぶ安芸灘諸島連絡架橋のうち「豊島大橋（吊橋：540m）」の点検を実施



砂防ダムの建設（ベトナム国）

日本の技術基準に基づいた砂防基本計画の策定、透過型砂防ダムの建設



主要事業実績紹介②

モビリティ形成事業

自動運転EVバス運行実証実験（佐賀県嬉野市）

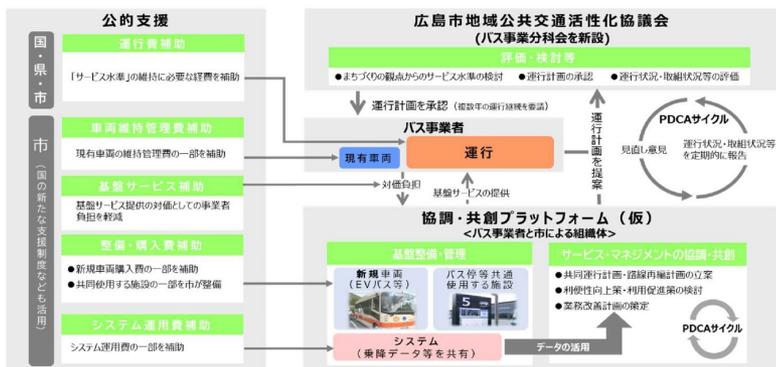
- ・社会実装時のサービス形態やビジネスモデルを見据えた実証実験を実施
- ・利用者ニーズや夜間運行の必要性、安全対策、収益性、経済波及効果等について検証中



バス協調・共創プラットフォームひろしまの計画策定支援（広島県広島市）

- ・官民が保有するデータの分析により、「協調・共創プラットフォーム」が行う路線最適化や企画立案等のサービス・マネジメントを支援

＜共同運営システム（広島モデル）のイメージ図＞



（都市活性化対策特別委員会（令和4年12月1日開催）提出資料より抜粋）

環境、都市・地域創生事業

ネイチャーポジティブ宣言（2024.11）

- ・人と自然の共生する世界に向け、地域の生物多様性保全に関する事業を展開し、ネイチャーポジティブに寄与することを宣言

▼宮ノ陣学びのビオトープ（久留米市）



小都市給水施設整備（エチオピア国）

- ・エチオピアの6小都市を対象とし、管路給水施設建設のための調査、計画、施工管理を実施

▼井戸揚水試験



【経営計画】

前半3年のキーワードは「再定義」

第5次中期経営計画

2022年7月～2028年6月

Redefinition

「再定義」

Strong Culture
「基本は技術」

経営理念

Mission

新しい価値の創造により**社会の持続的発展**に貢献します

目指す姿

Vision

1. 我々は高い技術力を基本とした事業活動で**顧客満足**を達成します
2. 上質な顧客価値の創造により**利益**を生み社会と株主に対する責任を果たします
3. 全従業員が仕事に誇りをもち仕事を通じて**人間的成長と幸福**を達成します

行動指針

Rule

1. 多様な分野の専門技術と連携し社会課題の解決に向けて**挑戦**を続ける
2. 健全で透明性の高い**誠実な経営**を持続する

Founder's Consultants Holdings Inc.

FCホールディングス

新しい価値を創造する専門家集団

【再定義】

- ・社会の役に立ち続ける技術
- ・ひと、働き方、組織編制
- ・土業者集団のあり方
- ・上場企業としての位置取り 等

【参考資料】グループ会社概要

※(株)福山コンサルタントを除く

株式会社 環境防災

四国発『環境と防災』のコンサルティングカンパニー

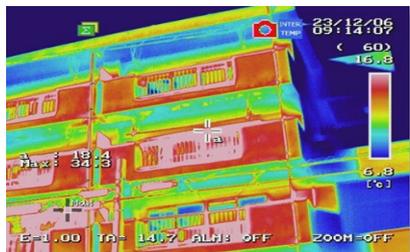
○建設材料の試験・分析・登録規格数 四国1位

(JNLA登録試験業者14規格)

○環境コンサルタント受注 徳島県1位 (当社調べ)

- ・調査・分析から対策・計画まで、環境分野をトータルサポート
- ・防災・減災、被災後の復旧・復興に資する技術サービスを提供

▼UAVによる建築物外壁赤外線調査



株式会社 地球システム科学

水資源開発、防災・環境、非破壊調査の
海外業務を主体としたコンサルタント

- ・先端技術とDX推進により、途上国の課題解決に貢献
- ・非破壊探査技術の差別化
- ・衛星プロダクトを活用した広域リスク分析 等

▼地下水塩水化に係る物理探査

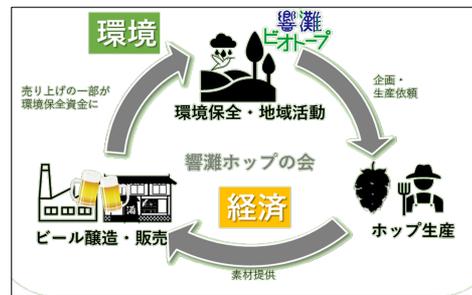


株式会社 エコプラン研究所

動植物系の環境調査技術を活用した
環境創生・保全ビジネス展開 (官民)

自然環境関連業務を幅広く展開

- ・自然環境調査
- ・エコロジカルデザイン
- ・環境学習 等



株式会社 SVI研究所

グループ研究開発機能

株式会社 インフラ・テクノロジーソリューションズ

株式会社 インフラ・テクノロジーソリューションズ 西日本

インフラメンテナンス事業展開

福山ビジネスネットワーク株式会社

グループ管理系統括機能

Fracti合同会社

スマートコミュニティ事業推進

アンケートのご協力をお願いします

今後の決算説明会の改善や、充実した情報提供の参考にさせていただきますので、率直なご意見をお聞かせください。

アンケートの回答時間は約5分です。

右QRコードを読み込んでいただきますと、アンケート回答URLへ移動します。

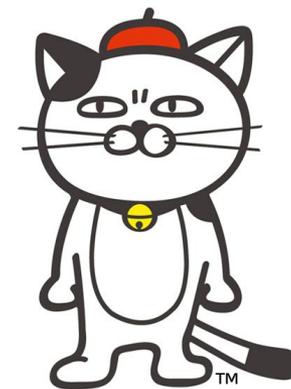


本日は、ご出席頂きましてありがとうございました。

「基本は技術」を企業集団の**「Strong Culture」**として、人々の
安全と安心を守り

社会的価値の高い企業体として持続的成長を図ってまいります。

引き続き、倍旧のご支援をよろしくお願い申し上げます。



広報部長 フランジヨイス since1996

◆当プレゼンテーション資料は、株式会社FCホールディングスおよびそのグループ会社の戦略・経営計画など、歴史的事実でない「将来に関する見通し」を含んでおります。係る将来に関する見通しは、現時点において入手可能な期待・見積り・予想に基づいており、その性質上、これらの期待・見積り・予想はリスクや不確実性を内在しております。従って、当社を取り巻く事業環境、将来の業績、経営結果、財務内容等は、係る将来に関する見通しにおいて明示的または黙示的に示される情報と大きく異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。当社は、係る将来に関する見通しについて情報を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

◆当プレゼンテーション資料は、有価証券の募集・売却、販売、勧誘を目的とするものではありません。投資・その他のご判断にあたり当資料の内容に全面的に依拠することはお控えくださいますよう、お願い申し上げます。

株式会社 FCホールディングス E-mail:ir@fchd.jp TEL:092-412-8300 FAX:092-412-8303